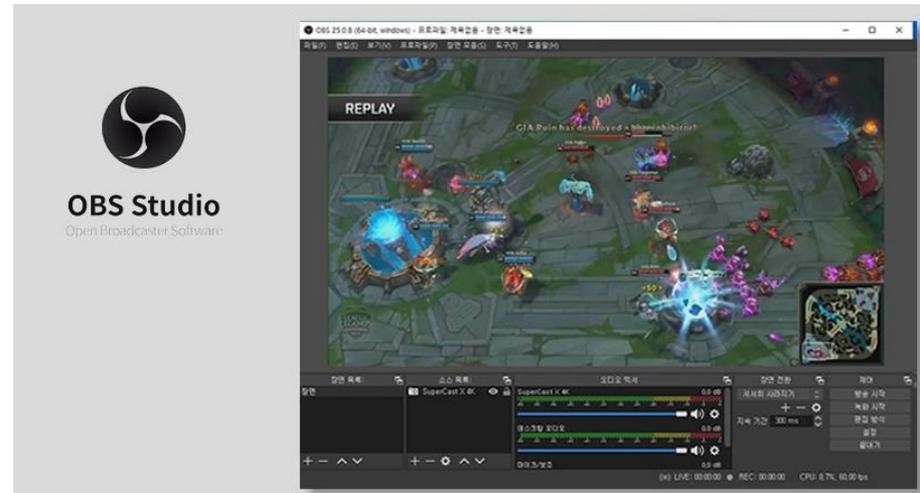


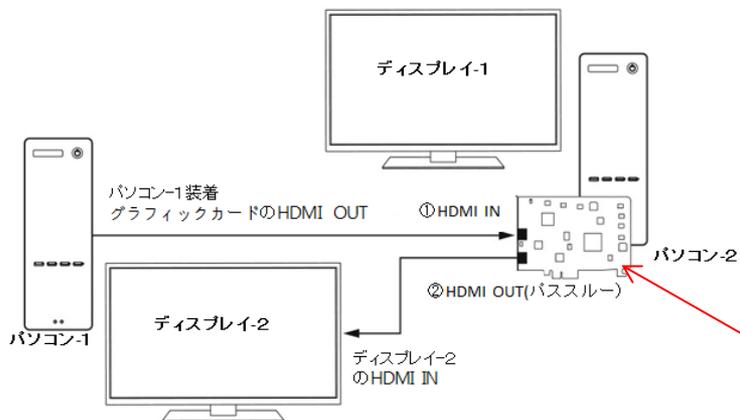
ライブストリーミング放送ソフト「Xsplit Gamecaster」と「OBS Studio」にスカイデジタル社(Skydigital Inc.)の4K splitter内蔵HDMIビデオキャプチャーカード「SuperCast X LIVE 2K」の設定方法



1. ライブストリーミング放送サービスためハードウェア連結例

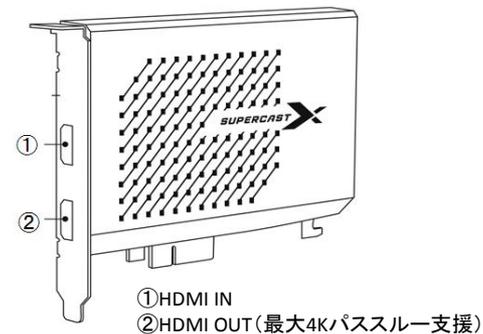
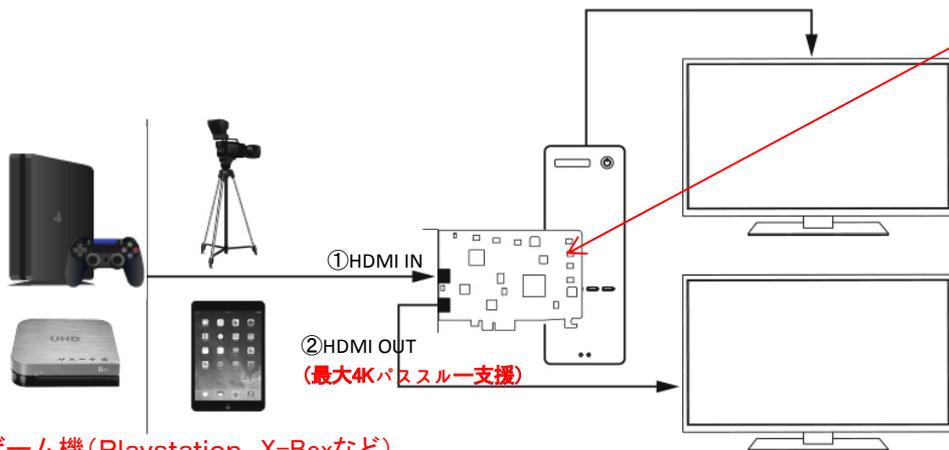
1) Supercast X LIVE 2Kの splitter 機能(HDMI OUTポート、最大4Kパススルー)を活用して下記の2台のパソコンに図のようにそれぞれパソコンとディスプレイを連結が出来ます。パソコンー1はゲーム専用パソコンで本キャプチャーカード装着のパソコンー2は放送用のパソコンで使えばパソコンー1のゲームプレイをライブストリーミングサービスをより安定的に実施間ライブ放送ができる長所が生まれます。

※本製品と連動で使うライブストリーミング放送用ソフトはOBS Studio又はXsplit Gamecasterを推奨します。



2) Supercast X LIVE 2Kの splitter 機能を活用してゲーム機、カメラ、スマート機器などに連結方法は下記の図をご参考お願いします。例えば、PlaystationゲームのHDMIケーブルを本キャプチャー装着パソコンの①HDMI INに挿すとより安定的に実施間ライブ放送の実行もできます。

※本製品と連動で使うライブストリーミング放送用ソフトはOBS Studio又はXsplit Gamecasterを推奨します。



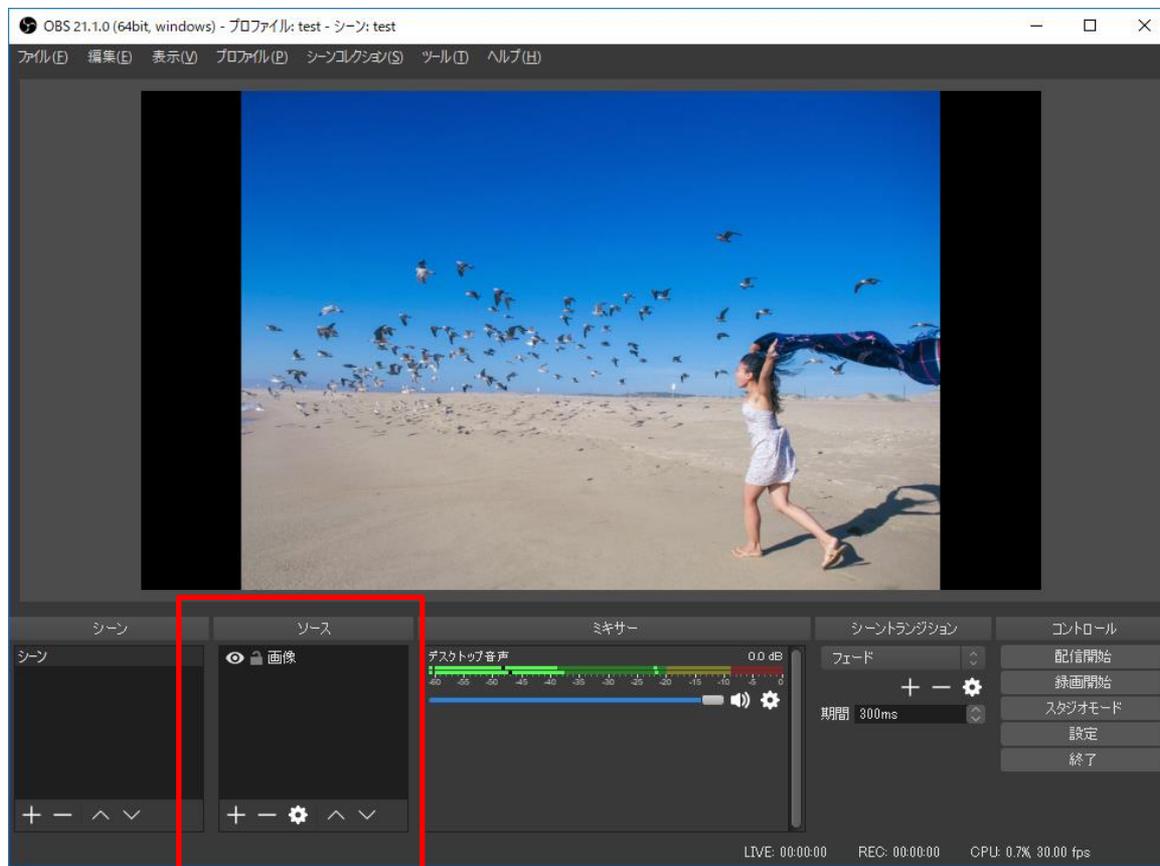
※コンソールゲーム機 (Playstation, X-Boxなど)
やウェブカメラやHDMI映像機器など

2. OBS Studio上にスカイデジタル社(Skydigital Inc.)のビデオキャプチャーカード設定方法

OBS Studio(以下OBS)は、各種配信サイトに対応している無料のライブ配信用ソフトです。スカイデジタル社のビデオキャプチャー製品を利用し、OBSでコンソールゲーム(Playstaion4、Xbox)などをライブストリーミングサービスするとより高画質で安定的に行うことができるのが長所です。先にスカイデジタル社の「SuperCast X LIVE 2K」キャプチャーカードをパソコンに装着し、該当キャプチャーカードドライバーを設置し、成功すると左図のように「デバイスマネージャー」画面に「SuperCast X 2k Driver」が見えます。その後、OBS設定を実施してください。下記のOBSメイン画面上のソース欄で「ビデオキャプチャーデバイス」のみを設定すればライブ放送ストリーミングサービスを実行準備ができます。詳しく設定は次のページをご覧ください。



<該当キャプチャーカードドライバー設置確認>



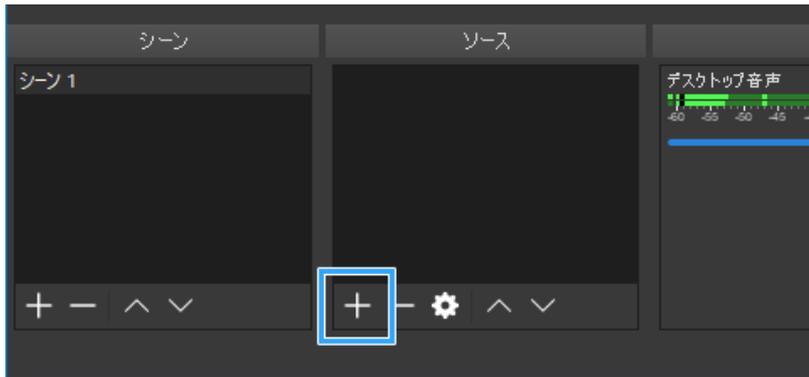
<OBS Studioメイン画面>

※注意事項

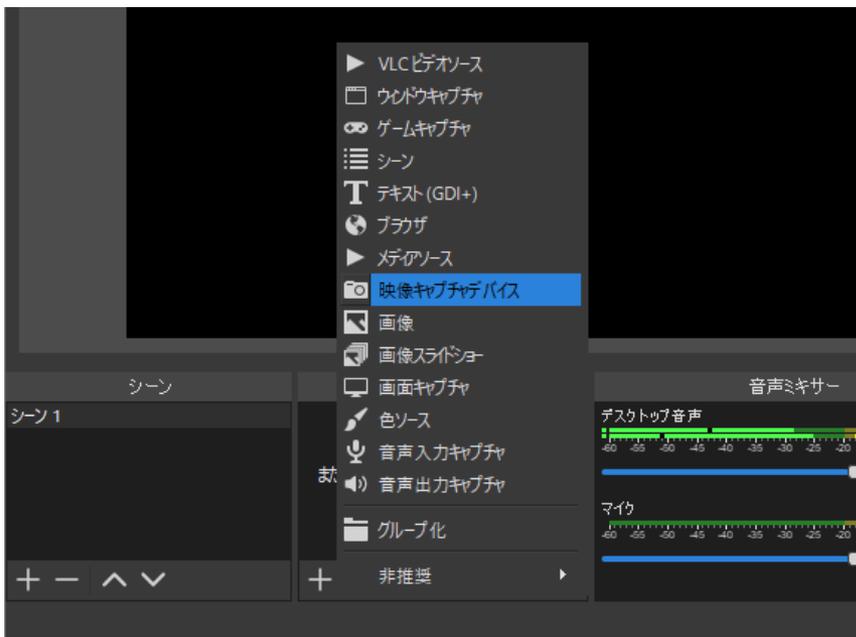
OBS実行前にもし「SuperCast X LIVE 2K」キャプチャーカードのアプリプログラムを既に実行中の場合必ず終了させてください。

1) 「ビデオキャプチャーデバイス」設定 ⇒ OBSにゲーム画面を映してみましよう！

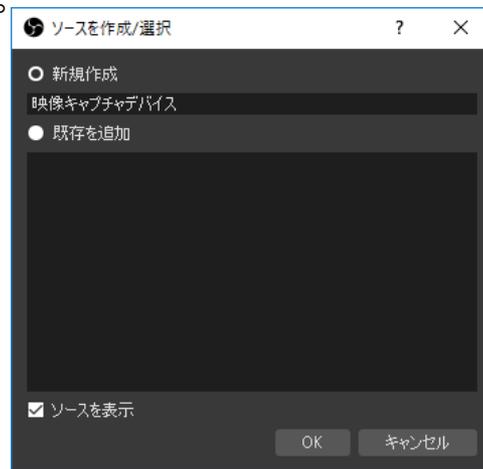
①「ソース」のところにある「+」をクリックします。



②「映像キャプチャーデバイス」を選択します。



③適当な名前をつけて「OK」をクリックします。そのままでもかまいません。



④「デバイス」欄で「SuperCast X 2K Capture」キャプチャーボードを選択します。



⑤「デバイス」設定が終わった場合、これでゲーム画面が映ります。

但し、ゲーム画面が映らない場合は、「映像キャプチャデバイスのプロパティ」設定画面の「解像度/FPS タイプ」で「カスタム」を選び、「解像度」と「ビットレート」をゲーム機などの該当映像出力設定に合わせます

※例えばSwitchやPS4の場合、通常は出力解像度が1920x1080になっているはずですが、従ってOBSの側も解像度を「1920x 1080」にします。

※「解像度」と「ビットレート」設定が間違った場合、画面が乱れる可能性があります。



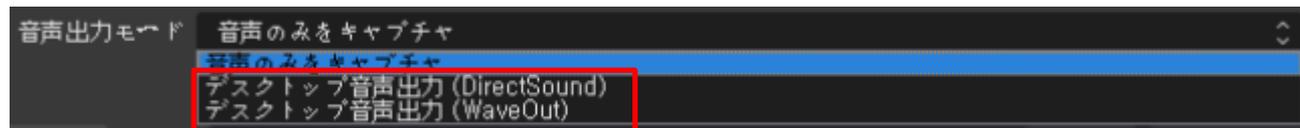
※映らなかった場合

画面が映らなかった場合は、さまざまな原因が考えられます。

- 製品がPCに認識されていない
- ほかのソフトで製品が使用されている
 - ※OBSを使う場合、必ず付属ソフト(「SuperCast X LIVE 4K」キャプチャアプリ)は閉じてください。
- ゲーム機側のHDCPが有効になっている(例: PS5、PS4、PS3)
- ゲーム機側の映像出力設定が不適切
- 付属ソフトの設定が不適切
- HDMIケーブルの接続が甘い、または故障している

2) 「オーディオデータ」設定

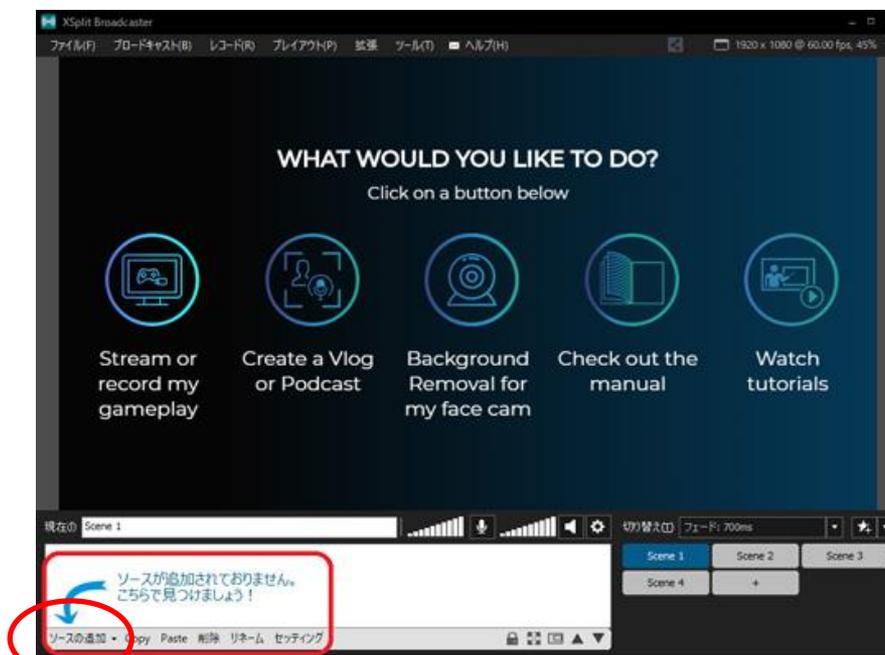
⇒ OBSメイン画面の「映像キャプチャデバイスプロパティ」の下部にあるオーディオ設定欄に行って「DirectSound」又は「Waveout」を選択すれば音が出ます。



3. Xspliter Gamecaster上にスカイデジタル社(Skydigital Inc.)のビデオキャプチャーカード設定方法

Xspliter Gamecaster(以下Xspliter)は、各種配信サイトに対応しているライブ配信用ソフトです。スカイデジタル社のビデオキャプチャー製品を利用し、Xspliterでコンソールゲーム(Playstaion4、Xbox)などをライブストリーミングサービスするとより高画質で安定的に行うことができるのが長所です。先にスカイデジタル社の「SuperCast X LIVE 2K」キャプチャーカードをパソコンに装着し、該当キャプチャーカードドライバをインストールしてからXspliter設定を実施してください。下記のOBSメイン画面上のソース欄で「ゲームキャプチャー」や「サウンド」を設定すればライブ放送ストリーミングサービスを実行ができます。詳しくは次のページをご覧ください。

※注意事項: Xspliter実行前にも「SuperCast X LIVE 2K」キャプチャーカードのアプリプログラムを既に実行中の場合必ず終了させてください。



<該当キャプチャーカードドライバインストール確認>

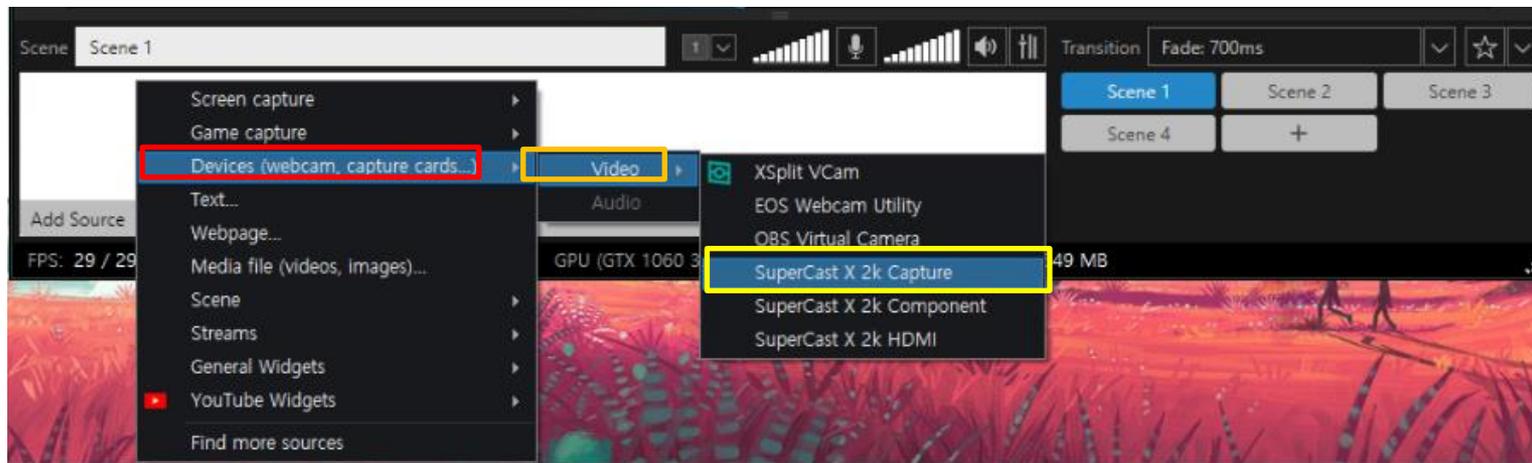
右下の「ソースの追加」をクリックし、映したいソースを選択します。

ソースの種類	特徴
Screenキャプチャー	デスクトップや映したいウィンドウ、先ほど紹介したスマートセレクションを使う場合はこちら
ゲームキャプチャー	ゲームを映す場合はこちら
デバイス	ウェブカメラ、キャプチャボードの画面を映す場合はこちら

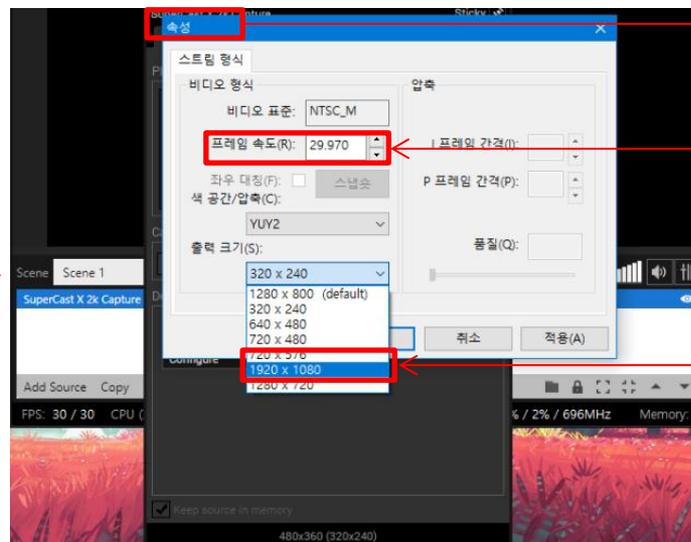
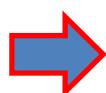
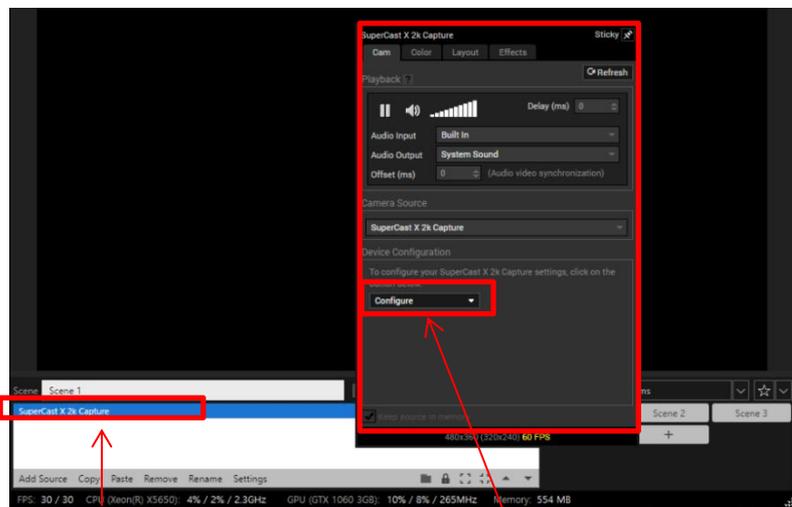
1) 「映像データ」設定

⇒ Xsplitにゲーム画面を映してみましょ！

①映したいゲームを起動した上で、「追加」→「Webcam、キャプチャーカード、その他のビデオデバイス」→「Video」→「SuperCast X 2K Capture」を選択する。



②追加設定した「SuperCast X 2K Capture」をクリックする画面小さく出ます。「SuperCast X 2K Capture」にマウスを置いて右クリックして「Configure」⇒「Video Output」を押して解像度/フレーム(1920x1080p / 60fps)を再度確認してください。



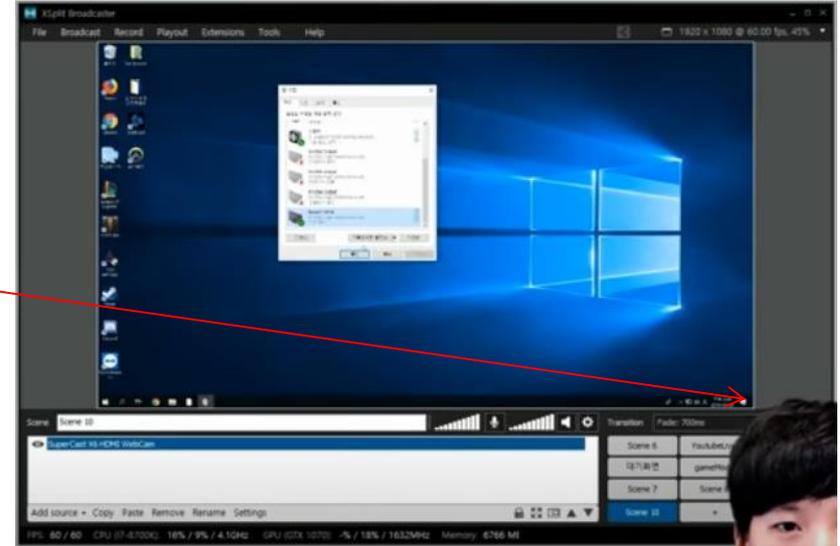
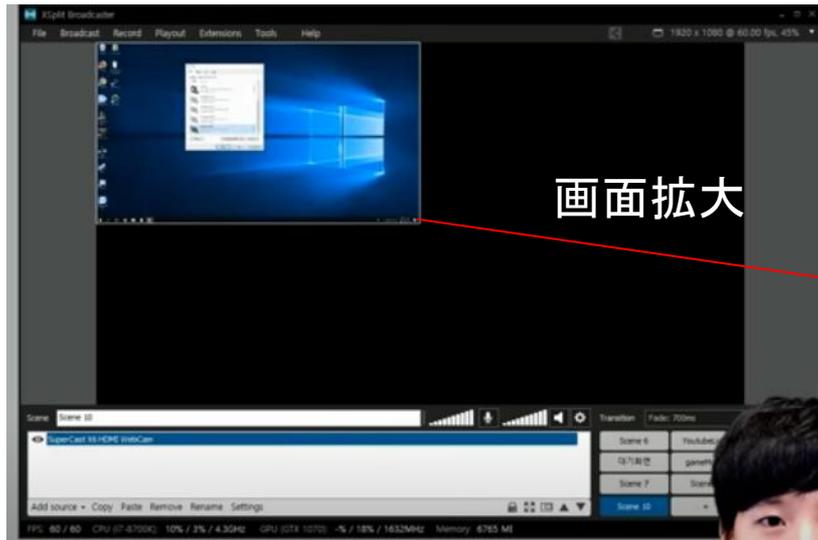
→ プロパティ
フレーム確認(60)
解像度確認(1080p)

「SuperCast X 2K Capture」

「Configure」

※解像度/フレーム(1920x1080p / 60fps)設定画面

③解像度/フレーム(1920x1080p / 60fps)の設定状態で下記のように画面を拡大してください。



2) 「オーディオデータ」設定

⇒ Xsplitの場合、HDMIから映像とオーディオデータが一緒に来るのそのまま出力するので特に設定しなくても音が出ます。

※上記の「Xsplit Gamecaster」と「OBS Studio」画面に「SuperCast X LIVE 2K」の設定に関してイメージ画面や文章に間違い内容があればお手数ですがご訂正してご利用宜しくお願いします。以上